

「透水性高炉スラグ舗装」と「土系舗装」との経年比較

■同じ現場で、同時期採用された「透水性高炉スラグ舗装」と「土系舗装」の経年変化の状況

＜施工場所＞ あけぼの子ども森公園／飯能市（平成9年7月 施工）

■6年後（平成15年8月撮影）



平坦性あり、表面変化なし（歩行性良好）

■11年後（平成20年5月撮影）



相変わらず表面変化なし（歩行性良好）

■16年後（平成25年8月撮影）



依然として歩行性良好

透水性
高炉水砕
スラグ舗装

土系舗装

両舗装が
隣接する
箇所の状況

透水性高炉
水砕スラグ

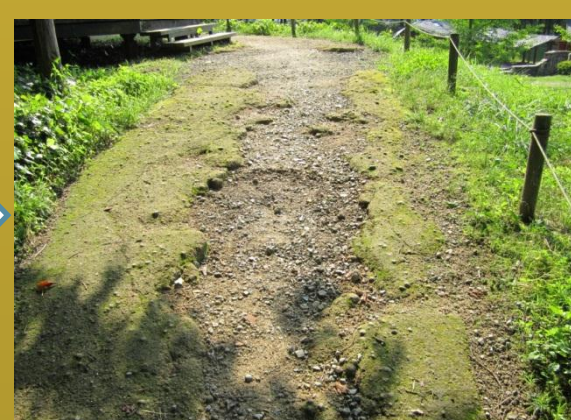
土系舗装



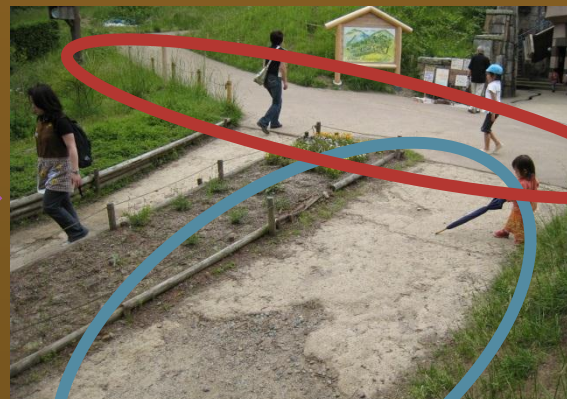
表面が凸凹状態（歩行性不良）



表層がハクリし地盤が露出（歩行性不良）



中央部がえぐれて歩行性が悪い



※本公園は「第14回都市公園コンクール」において「建設大臣賞」、及び「平成10年度建設省「まちづくり県土賞」をダブル受賞

■その他同一現場で採用された両舗装の状況比較

＜施工場所＞
長野県/
国営アルプスあづみ野公園



透水性高炉水砕スラグ舗装



土系舗装

全面、当社透水性高炉水砕スラグ舗装に変更